

令和6年度 デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ） 効果検証

I. 基本情報

事業名称	創造的復興に向けて人の流れを創る能登の魅力発信事業	総合戦略の位置づけ	※事業主体が石川県のため、町総合戦略における具体的な位置づけはされていない。戦略1・2の関連事業として実施
事業期間	事業種別	事業主体	担当課
令和6年度～令和8年度	広域	石川県	農林水産課

II. 事業概要・KPI

R6年度事業概要	能登半島地震からの早期復興に向け、能登の主力産業の再建と次世代への承継に向けた、能登に関わる関係人口を拡大するとともに、地震で得た教訓を県民・国民全体で共有し、災害に強い持続可能な地域づくりに取り組む。（別紙参照）						
交付金対象事業費	事業費内訳						
1,200,000円	①世界農業遺産活性推進・魅力発信事業（町負担金）					1,200,000円	
交付金充当額							
600,000円							
重要業績評価指標（KPI）	当初値		R6年度	R7年度	R8年度		
①人口の転入出数	-2,163 人	目標値	200	200	263		
		実績値					
②新規漁業就業者数	32 人	目標値	2.0	3.0	3.0		
		実績値					
③農家民宿の新規開業者数	3 人	目標値	2	4	9		
		実績値					
④震災後に奥能登で酒の生産を再開した酒蔵	軒	目標値	0	0	7		
		実績値					

※広域連携事業の非代表者の場合は記載不要となっている

III. 効果検証

A. 地方創生への効果

検証者	評価値	具体的評価
町		<ul style="list-style-type: none"> ・世界農業遺産「能登の里山里海」の認知度向上につながった。 ・震災で被災した酒蔵を中心に、酒の応援消費や販路拡大に繋がった。
外部委員		<ul style="list-style-type: none"> ・町評価がKPIにない内容であり、評価が難しいが、能登半島地震を忘れさせたいためにも、産業的復興のためにも、交付金による有効な活用があり続けることを臨みます。 ・災害からの復旧復興の状況を +αとして発信し続けることで更なる魅力を加味している。 ・たくさんの事業を実施しており効果はあった。八重洲いしかわテラスへの積極的展開を拡充させてほしい。 ・能登の魅力発信により、来訪者が喚起され交流人口の回復と関係人口の創出に着実な成果がみられる。 ・能登の里山里海のブランド維持、認知度向上は評価する。一方で関係人口の創出・拡大にまで至っていないため今後の施策に期待する。 ・災害に強い持続可能な地域づくりについては、まだ途上であり、具体的な評価が難しい ・能登の里山里海の風習をつなぐために継続して有効に活用してほしい

※評価値 A：非常に効果的であった B：相当程度効果があった C：効果があった D：効果がなかった
 広域連携事業の非代表者であるため評価値判断は行わない。

B. その他意見

検証者	意見
町	<ul style="list-style-type: none"> ・国内の世界農業遺産認定地域に加え、日本農業遺産認定地域との連携強化を推進することで、事業の自立化が可能と考えている。 ・世界農業遺産活用実行委員会の一員として、大学や他の世界農業遺産認定地域と連携した情報発信事業等を実施した。里山里海の食材や食文化、伝統技術などの地域資源を活用し、地域全体で「能登の一品」をPRすることとしている。 ・発信方法の高度化とターゲットの明確化を進め、継続的来訪と地域消費拡大につなげていく取組に期待します。
外部委員	<ul style="list-style-type: none"> ・民間との事業連携が乏しいのではないかと。 ・能登の一品（能登の新鮮な魚・貝・海藻・野菜・上等の酒など）を使った料理をふるまう1泊限定の能登を体験メニューを提案します。 ・KPI改善のためにブランド認知度を高く保ち、いかに観光・移住へと繋げていけるかが大事だと感じました。 ・デジタルを生かしたPRもそうですが、「能登の一品」の逸品を直接消費者に届けるD2C支援があれば良いと感じました。